

ソリューションサービス事業委員会 活動状況

2007年11月29日

ソリューションサービス事業委員会
委員長 伊藤 大拳

本委員会設置の目的と主要活動

委員会設置の目的

コンピュータのハードの低価格化と高性能化の技術革新が進行する中で、顧客に対してより高い付加価値の提供、即ち**ソリューションビジネス**の重要性が増大しているとの認識から、1999年12月、ソリューションサービスに関して、将来におけるマーケットの健全性及びその普及のための施策を調査・検討する委員会として、社団法人日本電子工業振興協会(現電子情報技術産業協会)内にソリューションサービス事業委員会を設置した。

委員会の活動と目標

同委員会の活動としては、ソリューションビジネスの定義、市場の動向、ビジネス体系、ソリューションを顧客に提案する方法論、ビジネスモデルについて、調査検討を行い、IT産業のみならず、関連業界の発展に貢献する。

年度別各専門委員会

2000年度 2001年度 2002年度 2003年度 2004年度 2005年度 2006年度

■ ソリューションサービス事業委員会

■ アーキテクチャ
専門委員会

【報道発表】

■ アーキテクチャ
専門委員会

■ コンサルティング
ソリューション
専門委員会

■ ビジネスモデル
専門委員会

■ ソリューション
サービス標準化
専門委員会
(コンサルティング
ソリューションの研究)

■ ソリューション
サービス標準化
専門委員会
(EAの研究)

■ ソリューション
サービス標準化
専門委員会
(EAの研究)

■ IT内部統制
専門委員会

■ インターネット
ビジネス
専門委員会

■ インターネット
ビジネス
専門委員会

■ Webニュービジネス
専門委員会

■ 先進的ソリューション
モデル専門委員会
(先進ITテクノロジーの研究)

■ 先進的ソリューション
モデル専門委員会
(個人情報保護対策の研究)

【報道発表】

■ 先進的ソリューション
モデル専門委員会
(RFID)

■ 安心安全ソリュー
ション専門委員会

■ ソリューション
ビジネス環境整備
専門委員会

■ 環境整備
専門委員会

■ ビジネス環境
専門委員会

■ ビジネス環境
専門委員会
(ITILをベースにした
民間向けSLAガイドライン
の研究)

■ SLA/SLM
専門委員会
(民間向けSLAガイドライン
の策定)

【報道発表】

■ SLA/SLM
専門委員会
(民間向けSLAガイド
ラインの出版)

■ SLA/SLM
専門委員会
(民間向けSLAガイド
ライン第三版の出版)

■ 環境情報化
専門委員会

■ 高齢化対応
専門委員会

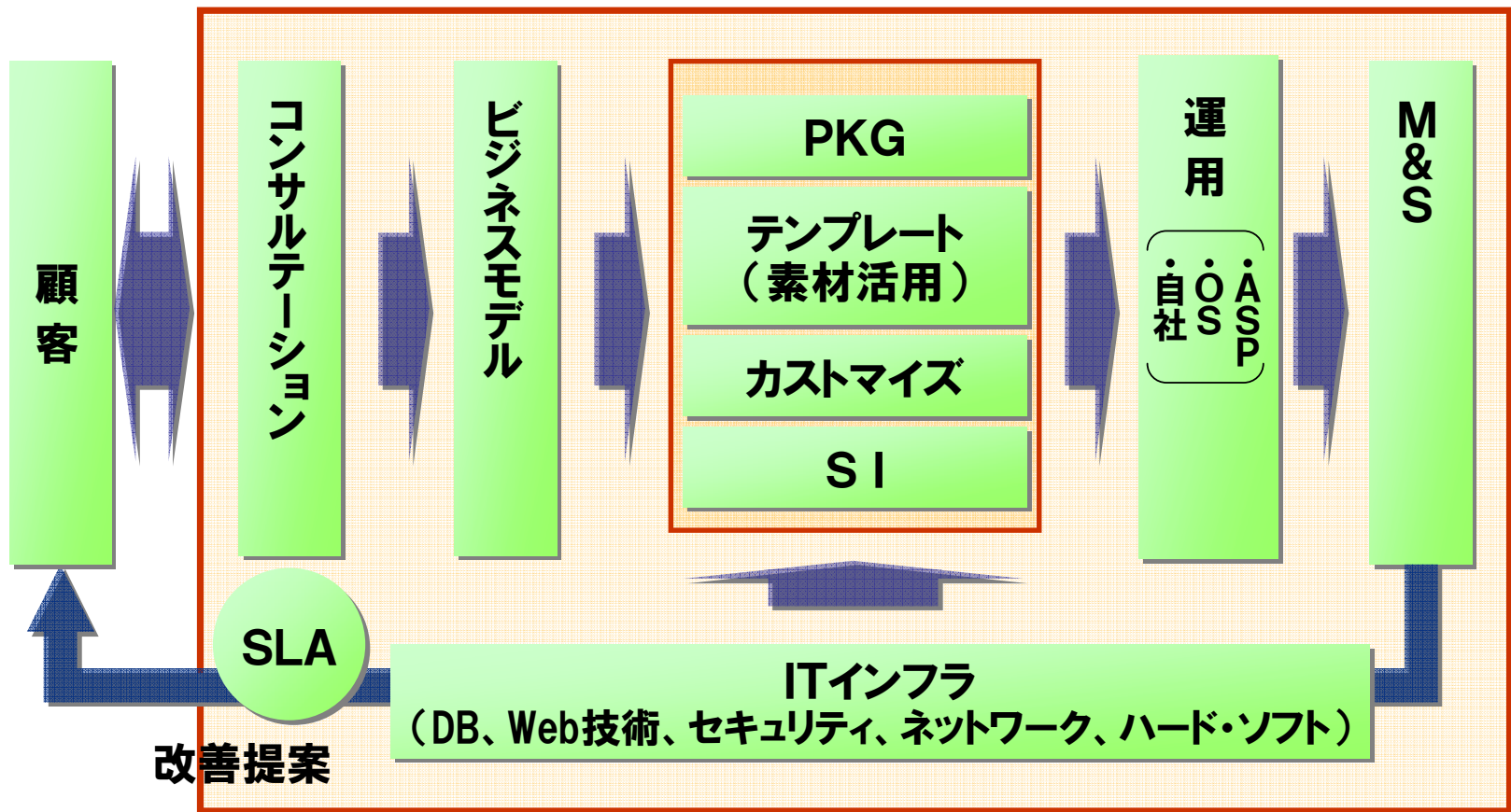
■ ITサービス調達政策
タスクフォース

■ ソフト開発モデル
契約WG

これまでの研究内容／成果

- ・ ソリューションサービスのビジネスモデル
- ・ 日本のソフトウェアおよびソリューションサービス市場統計調査
- ・ 民間向けITシステムのSLAガイドラインの策定
- ・ IT活用による内部統制に関する環境整備
- ・ 政府調達を中心とした調査研究、および普及啓蒙活動
- ・ ソフトウェア多段階契約標準モデルの研究
- ・ 日米IT投資比較分析調査(情報システム運営委員会との連携)
- ・ 企業向け個人情報保護対策実践アセスメントガイドの作成
- ・ RFIDの研究
- ・ コンサルティングビジネスの研究
- ・ EAの研究⇒EA導入ガイドの作成

ソリューションサービスビジネスモデル



民間向けITシステムのSLAガイドラインの策定(1/2)

目的：**SLAをITサービスの共通のコミュニケーションツール**と位置付けて、ITサービスの見える化をSLAで実現し、提供者と利用者のITサービスの価値向上をめざす。

- ① SLA評価項目選定に際し、以下の点についてITILを参考にしている
 - ・サービスデリバリーやリソースマネジメントの合意方法と評価方法
 - ・SLMの運用体制などの管理プロセス
- ② 業界初の、ITサービス全体をカバーする**SLA定義プロセス**を規定
 - ・ITリソース、ITサービス、ITプロセス管理をカバーしている
- ③ **独自のSLA作成プロセス**定義
 - ・SLA作成までを8つのステップで構成
- ④ 「ITサービス」「ITプロセスマネジメント」「ITリソース」の3つのカテゴリに分類し、480項目のSLA項目を設定
- ⑤ SLAに関する**独自の各種活用ツール**を整備
 - ・チェックリスト(セルフアセスメント用)
 - ・業界・業務モデル
 - ・ITサービス一覧
 - ・標準SLA表(サービス項目表、サービスレベル基準表)
 - ・契約書サンプル
- ⑥ SLA普及実態調査及びSLA適用事例を掲載
- ⑦ 「ISO/DIS20000対応アドホック会議」への参加(JEITA代表)

民間向けITシステムのSLAガイドラインの策定 (2/2)

民間向けITシステムのSLAガイドラインに関するセミナー

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
実施時期	2004年11月16日	2004年12月15日	2005年3月23日	2005年7月12日	2005年9月6日	2006年12月14日	2007年4月20日	2007年7月20日
参加者数	94名	113名	92名	123名	111名	102名	100名	名
参加者の 主な業界	情報通信(40%)、サービス(30%)、製造(10%)、商業(2%) その他(金融保険、不動産、官公庁、農林水産 など各1%程度)							

テーマ・講師 (2006年12月開催)

「ソリューションサービス事業委員会活動概要」「ソリューションサービス市場規模と日米IT投資比較分析調査結果」
ソリューションサービス事業委員会 富士通株式会社 伊藤 大孝 委員長

「民間向けITシステムのSLAガイドライン(第三版)の概要」
SLA/SLM専門委員会 日本電気株式会社 岡田 雄一郎 副委員長

「民間向けITシステムのSLAガイドライン(第三版)の活用方法」
SLA/SLM専門委員会 日本ユニシス株式会社 銅玄 智昭 副委員長

「事例紹介:三井化学株式会社におけるSLA/SLMの取組み」
三井化学株式会社 理事 崎山 富士雄 氏

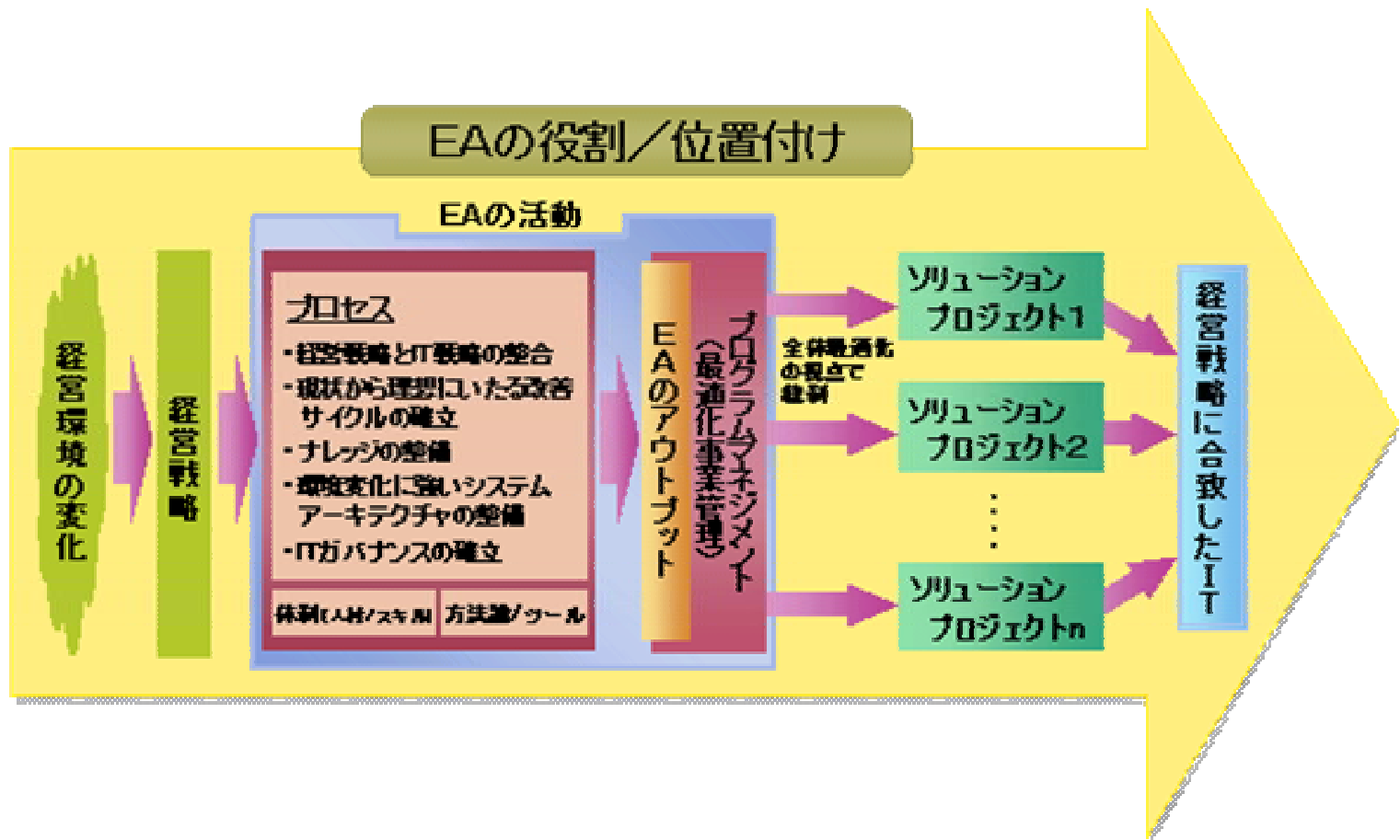
「日本版SOX法の状況とIT内部統制の考え方」
IT内部統制専門委員会 日本電気株式会社 川井 俊弥 委員長

「内部統制とISO20000」
ISO20000JIS原案作成委員会WG 主査 日本電気株式会社 大畑 毅 氏

「ITサービスリスクマネジメントとSLA」
SLA/SLM専門委員会 日本電気株式会社 石嶋 光 委員

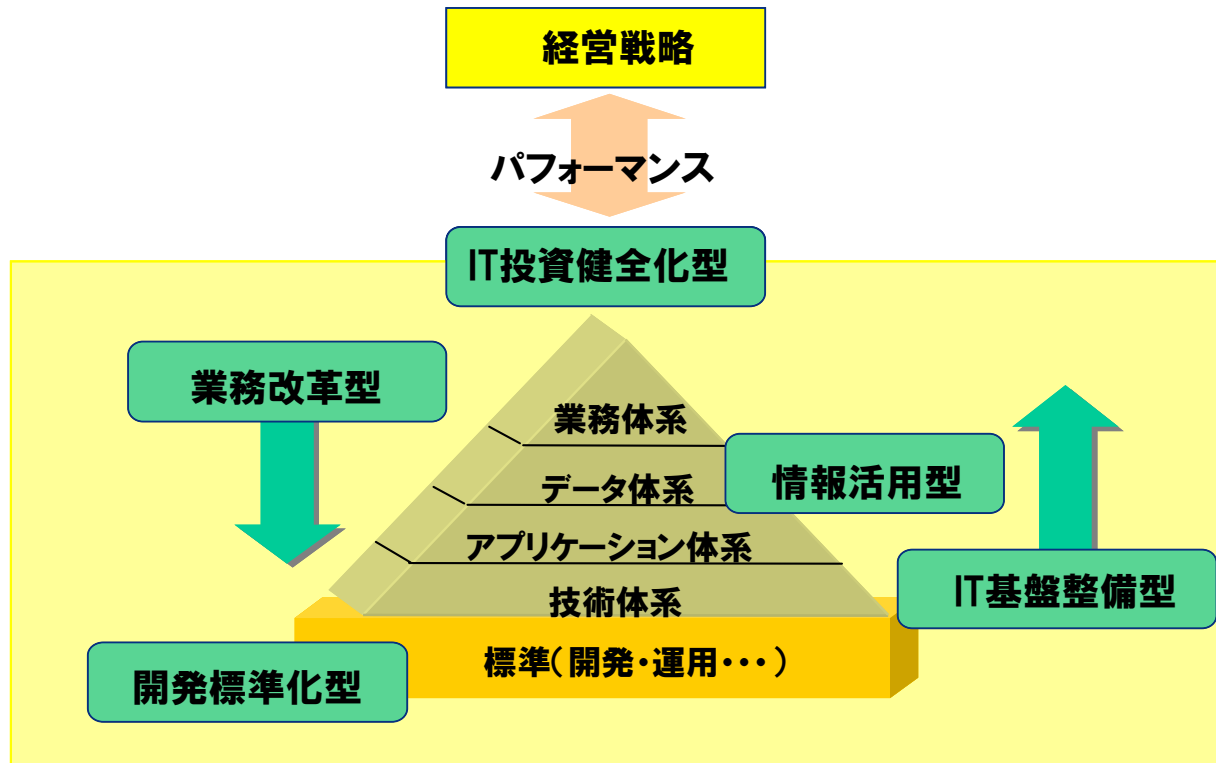
「SLA/SLM専門委員会の今後の取組みについて」「質疑応答」
SLA/SLM専門委員会 富士通株式会社 斎藤 弘志 委員長

EAの研究 (1/2)



EAの研究 (2/2)

EAを導入する際の方考え方として5つの改革領域を策定



企業向け個人情報保護対策実践アセスメントガイド

活動目的／内容

背景

2005年度から本格的に始動する個人情報保護法を睨み、ソリューションビジネスの拡大が期待される。

活動目的

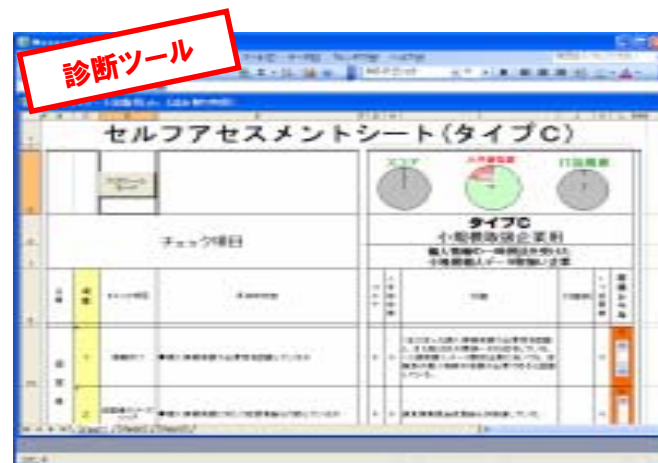
「日々の活動リスク低減処置が後回し」という実態に対するリスク診断と具体策の示唆

活動内容

- ・個人情報取扱規模による企業タイプの分類
- ・三つの企業タイプごとに診断項目を抽出
- 【項目の根拠】【チェック事項】【必要な対策】【解説】を項目別に記述

活動の成果

- ・個人情報取扱規模タイプ分類:3種類に整理
規模タイプ別診断項目抽出:137項目、120項目、86項目
- ・個人情報取扱規模が小さい中堅・中小の企業に向けた
診断ツールのダウンロードサービス(JEITAから)
- ・個人情報小規模取扱事業者向け、対策実践ガイド
-解説本- 出版(7月、日本法令から)

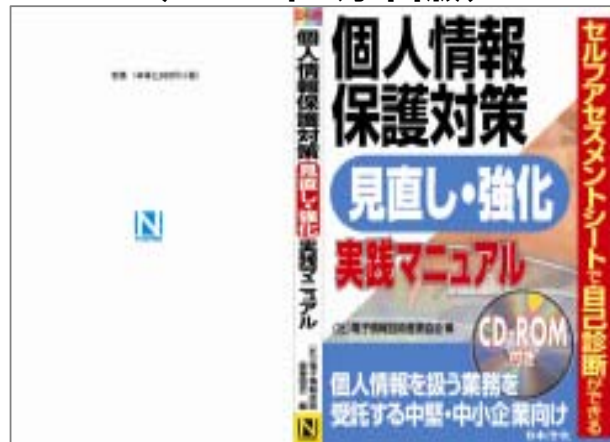


出版について

(2005年6月 出版)



(2005年7月 出版)



(2006年10月 出版)

■実践的なSLA活用情報の 拡充

- SLA活用事例の追加
- SLA活用動向の最新化
- SLA活用におけるQ&Aの追加

※経産省資料でも参照される
など実質的な業界標準となっ
ている



(2007年8月 出版)

■SLAのリスクマネジメントへ の適用

- ITサービスリスクの体系化
(294項目の具体的リスク項目)
- リスクに対するSLA活用方法
の例示
- IT内部統制項目表の提示
(79管理項目、132統制項目)

中堅・中小企業におけるBCP対応状況調査

調査の前提

本調査は中堅・中小企業を対象としたものであり、中小企業庁による「中小企業の定義」等を参考に、従業員規模で50名～1500名以下の企業を対象としている。

中小企業庁による「中小企業の定義」

主な業種	従業員規模 (常時使用する従業員)	資本金規模
製造業・その他業種	300名以下	3億円以下
卸売業	100名以下	1億円以下
小売業	50名以下	5000万円以下
サービス業	100名以下	5000万円以下

- ・アンケート企業数 : 103社
- ・ヒアリング企業数 : 8社

主な調査結果

- 事業継続計画の認知度は、25％程度。
- 事業継続計画策定済みの会社は、1割程度。
- IT投資額は、1億円／年 程度。
その内、ITリスクへの投資は5％未満が44％を占めている。
- 事業継続計画の取り組みのきかけは、法令対応／制度対応が多い。
- 事業継続計画策定済み企業は、市場競争力向上の観点から取り組んでいる。
- 全社的な観点からの業務継続計画策定の企画・立案ができる人材／リーダーの不足が課題

2006度のトピックス

ソフトウェアおよびソリューションサービス市場規模調査結果の記者発表
(2006年9月28日発表)

民間向けITシステムのSLAガイドライン第三版出版
(2006年10月2日)

CEATEC JAPAN2006 講演
(2006年10月4日)

民間向けITシステムのSLAガイドラインセミナーの開催
(2006年12月14日)

情報システムの政府調達に関する提言発表
(2007年3月30日)

2007年度事業活動

- ・ 日本におけるソフトウェアおよびソリューションサービス市場規模調査
- ・ 民間向けITシステムのSLAガイドライン
- ・ ITサービス分野におけるITリスクマネジメント
- ・ IT活用による内部統制に関する環境整備
- ・ 政府調達を中心とした調査研究、および普及啓蒙活動、情報システム政府調達に関する提言
- ・ ソフトウェア開発モデル契約に関する調査、改訂、普及啓蒙活動

ソリューションサービス 事業委員会

伊藤委員長(富士通総研)
金山副委員長(三菱電機)【統計調査】
小林副委員長(日本ユニシス)【契約標準】

SLA／SLM専門委員会

斉藤委員長(富士通総研)

IT内部統制専門委員会

川井委員長(日本電気)

ITサービス調達政策 専門委員会

紅林委員長(日立)

ソフト開発モデル契約WG

鈴木主査(富士通)

2006年度日本のソフトウェアおよびソリューションサービス 市場規模調査結果

はじめに

- JEITAの自主統計として、2003年度よりソフトウェアおよびソリューションサービスの統計値を毎年公表している。
- 分類は各社のデータ公開の現状を踏まえ、SI開発、ソフトウェア、アウトソーシング他の三分類としている。
- ソフトウェアおよびソリューションサービスの統計値は、JEITA加盟の主要11社。
セイコーエプソン、沖電気工業、シャープ、東芝、
日本IBM、日本電気、日本ユニシス、日立製作所、
富士通、松下電器産業、三菱電機

2006年度ソフトウェアおよびソリューションサービス 国内市場統計調査結果

(単位:億円)

項 目	定義・内容説明	2006年度	前年度比
合 計		53,850	101%
SI開発	コンサルティング、ソリューション システムインテグレーション	24,189	94%
ソフトウェア	アプリケーションパッケージ ミドルウェア	7,689	112%
アウトソーシング ・その他サービス	アウトソーシング (リモート監視、プロバイダ事業を含む) ハードメンテナンス、ソフトメンテナンス、 その他	21,972	107%

2006年度ソフトウェアおよびソリューションサービス ／ハードウェア調査結果

(単位:億円)

項 目		定義・ 内容説明	2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2002年 度比
				前年度比		前年度比		前年度比		前年度比		前年度比	
	SI開発	コンサル、システム インテグレーション、他	22,519	—	23,514	104%	24,309	103%	25,663	106%	24,189	94%	107%
	ソフトウェア	APパッケージ、ミ ドルウェア、他	7,689	—	7,911	103%	7,883	100%	6,855	87%	7,689	112%	100%
	アウトソーシ ング・その他 サービス	アウトソーシング、 HWメンテSWメン テ、他	18,074	—	20,992	116%	19,659	94%	20,551	105%	21,972	107%	122%
ソフトウェアおよび ソリューションサービス 計			48,282	—	52,417	109%	51,851	99%	53,069	102%	53,850	101%	112%
ハードウェア			27,629	87%	24,726	89%	26,929	109%	26,524	98%	24,380	92%	88%
ソフトウェアおよび ソリューションサービス & ハードウェア 合計			75,911	—	77,143	102%	78,780	102%	79,593	101%	78,230	98%	103%

2007年度ソフトウェアおよびソリューションサービス市場予測

- 経済動向
- 積極的なIT活用
- ITのさらなる進展



伸長率2～3%台 5兆5,000億円程度